

企業向けジョブコーチ養成研修実施

3月5日～7日の3日間で、企業内ジョブコーチ育成のための3日間研修を実施しました。今回の研修を通じて一般企業を中心に20名の新規ジョブコーチが誕生しました。講師にとっては、昨年12月に正式にジョブコーチトレーナーに認定されて以降初めての研修実施となりました。今後に向けた課題はあるものの、参加者へ行ったアンケートでは研修に対する満足度の高さが伺えました。

参加者の多くは大企業に所属しており、人事課、スーパーバイザー、安全衛生管理職員などが出席しました。参加企業は、衣料品業を中心とする工業、ホテルやレストラン、薬局などのサービス業が多く、中にはすでに4%の雇用率を達成している企業もあり、参加者は情報収集にも熱心に取り組んでいました。



研修風景



20名の参加者と講師

シリア難民障害者スポーツ活動終了

シリア難民障害者に対して実施してきたスポーツ活動が、3月11日をもって終了しました。この活動に参加した総数は102人で、その多くが個別のピアカウンセリングを受けてのグループへの参加となり、スポーツ活動を確実な社会復帰・参加への一歩とすることができました。終了に当たり、参加者に対してスポーツ活動の振り返りと今後希望する活動について聞き取りを行いました。また、今後はプロジェクトとして就労を推進したい考えを伝え、意見を聞きました。



練習風景

IOCCによるジョブフェア開催

国際NGOのIOCCがヨルダン人とシリア難民障害者を対象としたジョブフェアを実施しました。参加者は企業の採用担当者と直接話し、雇用条件等について熱心に聞いていました。

IOCCは会場までの送迎バスを出すなど、障害者に対する配慮もみられました。



企業の話聞く求職者

雇用ガイドブックファシリテーター会議

JICAの支援で養成した障害者雇用ガイドブックファシリテーター（労働省職員）が集まり、2018年の活動計画について話し合いました。8名のファシリテーターは年内にそれぞれ2回ずつの当ガイドブックを利用した啓発セミナーを実施することになり、今後具体的に計画実施する予定です。